# 学びやタイムスリップ

## ⑥1 脇田良吉と春風倶楽部（明治時代）

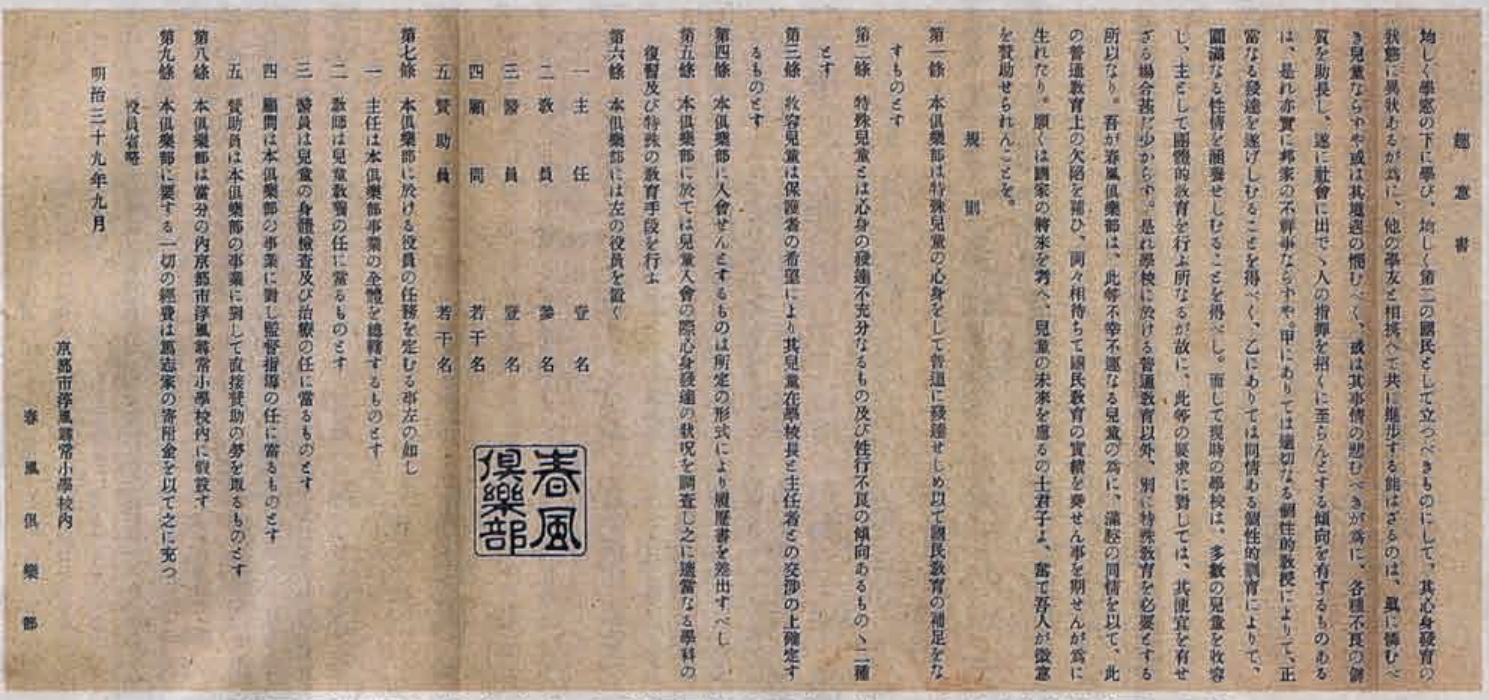
# 知的障害児教育を先進実践

今日のいわゆる特別支援教育は、これまで「障害児教育」や「養護教育」、「特殊教育」など、さまざまな呼ばれ方をしてきました。また、それ以上に、教育の方法や制度も、時代によって大きく変わってきました。

京都における特別支援教育は、上京十九区小学校（後の待賢小）の教師・古河太四郎による聾教育を初めとし、1878（明治11）年には古河らの尽力により京都盲唖院が開設されます。

一方で、知的発達に遅れのある子どもを対象とした教育は、1900年代初頭の淳風尋常小学校（下京区）に始まります。同校校長中川至の理解のもと、特殊学級の担任箕田助五郎とともにその教育に取り組んだのが、後に白川学園の園長となる、脇田良吉でした。

その背景には、このころ、全国的に尋常小学校児童就学率が急上昇し、今日で言うところの学習障害や発達障害のある子ども、発達遅滞の子どもの教育が課題となっていたことが挙げられます。



趣意書

均しく學窓の下に學び、均しく第二の國民として立つべきものにして、其心身發育の狀態に異狀あるが爲に、他の學友と相携へて共に進歩する能はざるのは、亂に憐びべき兒童ならずや或は其遲速の憫びべく、或は其事情の憐びべきが爲に、各種不良の御賞を助長し、遂に社會に出で、人の指彈を招くに至らんとする傾向を有するものあるは、是れ亦實に邦家の不幸事ならずや。甲にありては遠切なる個性的教授によりて、正當なる發達を遂げしむることを得べく、乙にありては同情ある個性的訓育によりて、圓滿なる性情を涵養せしむることを得べし。而して現時の學校は、多數の兒童を收容し、主として團體的教育を行ふ所なるが故に、此等の要求に對しては、其便宜を有せざる場合甚だ少からず。是れ學校に於ける普通教育以外、別に特殊教育を必要とする所以なり。吾が春風倶樂部は、此等不幸不運なる兒童の爲に、滿腔の同情を以て、此の普通教育上の欠陥を補ひ、同々相待ちて國民教育の實績を擧せん事を期せんが爲に生れたり。願くは國家の將來を考へ、兒童の未來を憂るの士君子よ、奮て吾人が微意を贊助せられんことを。

規則

第一條　本倶樂部は特殊兒童の心身をして普通に發達せしめ以て國民教育の補足をなすものとす

第二條　特殊兒童とは心身の發達不充分なるもの及び性行不良の傾向あるもの、二種とす

第三條　收容兒童は保護者の希望により其兒童在學校長と主任者との交渉の上確定するものとす

第四條　本倶樂部に入會せんとするものは所定の形式により履歴書を差出すべし

第五條　本倶樂部に於ては兒童入會の際心身發達の狀況を調査し之に適當なる學科の復習及び特殊の教育手段を行ふ

第六條　本倶樂部には左の役員を置く

一　主任　壹名
二　教員　參名
三　醫員　壹名
四　顧問　若干名

第七條　本倶樂部に於ける役員の任務を定むる都左の如し

一　主任は本倶樂部事業の全體を總轄するものとす
二　教師は兒童教養の任に當るものとす
三　醫員は兒童の身體檢査及び治療の任に當るものとす
四　顧問は本倶樂部の事業に對し監督指導の任に當るものとす
五　贊助員は本倶樂部の事業に對して直接贊助の勞を取るものとす

第八條　本倶樂部は當分の内京都市淳風尋常小學校内に設置す

第九條　本倶樂部に要する一切の經費は篤志家の寄附金を以て之に充つ

役員省略

明治三十九年九月

京都市淳風尋常小學校内
春風倶樂部

春風倶楽部の趣意書および規則（1906年、脇田良吉「白川学園」より）

京都府教育会という教員組織がそれらの子について調査を実施したのは、1902（明治35）年でした。

いちはやく障害のある子どものための教育に取組んでいた脇田は、1905（明治38）年、京都府に公的な特別学級設立を建議しますが、前例がないということで、受け入れられませんでした。

公設できないなら私設で、ということで、脇田は翌年9月に、松原通以南11校の校長及び学務委員を後援として、淳風校に私設の「特殊教育」学級である春風倶楽部を立ち上げます。

翌年春、脇田は東京の楽石社に「特殊教育研究部」創設のために招かれ、東京帝国大教授・元良勇次郎（同志社英学校出身）、楽石社社主・伊澤修二のもとで、「精神操練」の研究と実験に取り組みます。その成果は、1908（明治41）年5月に著書として刊行され、京都府教育会による白川学園創設を促しました。

翌年7月に創設された白川学園は、当初は公立で、京都帝国大学教授松本亦太郎（同志社英学校出身、元良の後継者、日本心理学会初代会長）との連携のために百万遍の知恩寺内に置かれ、脇田は教員としてその教育実践を担いました。

（京都市学校歴史博物館学芸員　和崎光太郎）

◇

今回紹介した資料は、学校歴史博物館（下京区）で開催中の企画展「京都における特別支援教育のあゆみ」で展示しています（水曜休館）。